

式辞 桜前線が南から駆け上がってくる気配が、日を追うごとに強く感じられる今日の良き日、PTA会長のかわむら たいすけ 様はじめ、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和7年度の入学式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

ただいま、入学を許可された普通科200名、スポーツ科学科40名の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員並びに在校生一同心より歓迎いたします、

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまで育ててこられ、支えてこられたその愛情、ご尽力に衷心より敬意を表するとともに、お預かりするお子様を三年間しっかりと育てることをお約束いたします。本校の教育活動にどうかご協力を賜りますよう よろしく願いいたします。

さて、皆さんが入学した本校は、昭和50年4月に開校して以来、昨年創立50周年をお祝いし、今年で創立51年目を迎える伝統校であります。平成13年にスポーツ科学科が設置され、これまでの卒業生は一万三千人を超え、様々な分野で活躍する多くの人材を輩出してきました。開校以来、本校では「文武両道」を目標に、勉学・部活動にと力を入れて参りました。校訓「自啓自発」のもと、「学びたいと思うゆえに教えを請う」という謙虚で真剣な態度を育成するとともに、自由で平和な社会の形成者として個性豊かで想像力に富み、郷土の未来を担ってたくましく前進する人間を育成することを教育目標に掲げております。

このように日々生徒と教師が一丸となった教育活動が繰り広げられ、学習活動の充実とともに、部活動では、スケート部のインターハイ入賞を始め、柔道部、テニス部のインターハイ出場、文芸部の、全国高等学校短歌大会で団体優勝、陸上競技部、女子バレーボール部が東北大会出場をするなど運動部、文化部ともにめざましい成果を上げています。

さて、新入生の皆さん、今日から伝統ある八戸西高等学校の生徒となりました。今、これから始まる高校生活への期待で、大いに胸の高まりを感じていることと思います。そこで、新入生の皆さんに心掛けて欲しいことについて三つお話をします。

まず一つ目は、本校の校訓「自啓自発」の示すとおり「自ら積極的に学ぶ姿勢を持つ」ということです。高校は学習の内容も方法もその量も大きく異なります。ただ与えられたものだけをこなす受け身の姿勢ではなく、何事にも問題意識を持って、積極的に問いかけていく、主体的な学習の仕方を身につけることが大切です。高校生活は楽しいものです。自ら学習し、部活動や学校行事に積極的に参加し、行動してこそ、その楽しさが実感できると思います。

二つ目は、「基本的生活習慣の確立」です。挨拶、掃除、時間の厳守など当たり前のことを当たり前に行って欲しいと思います。挨拶は自分から進んで行っ

て欲しいと思います。元気な挨拶は気持ちのいいものです。自分たちが普段使っている場所を掃除し、時間を守ることで、信用を得ることに繋がり、信頼関係ができて、その後の人間関係が円滑になる。遅刻はもとより課題や書類などの提出期限を守ってください。

三つ目は、「思いやりの心を持つ」ということです。常にまわりのことを考え、迷惑をかけていないかを感じてほしいと思います。古代中国の思想家である孔子は、「論語」の中で「己の欲せざる所、人に施すなかれ」すなわち、「自分がいやがることは、人にはしてはいけない」と述べています。相手の気持ちを考える、自分とは違う相手の個性を理解する気持ちが大切です。

以上の三つのことを胸に刻み、学習活動だけではなく文化・スポーツ活動、ボランティア活動にも全力で取り組み、たくさんの友をつくってください。

それでは新入生の皆さん、今日の喜びを忘れず、心身共に健康で、充実した高校生活を送ることを期待し式辞といたします。

令和7年4月7日

青森県立八戸西高等学校

校長 坪 宏至